



発行所 福井県大野郡 和泉村

(昭和44年4月1日現在)

Table showing population statistics for the village, including birth/death rates, migration, and sex ratios.

村の面積 332.26平方km

今月の目標

- Three goals for the month: 1. Child health, 2. Child health and education, 3. Good habits for children.

予算の展望

財政分析は先ず良好... 過疎を追放し住みよい村に

Main text of the budget outlook, discussing financial analysis and the goal of creating a livable village.

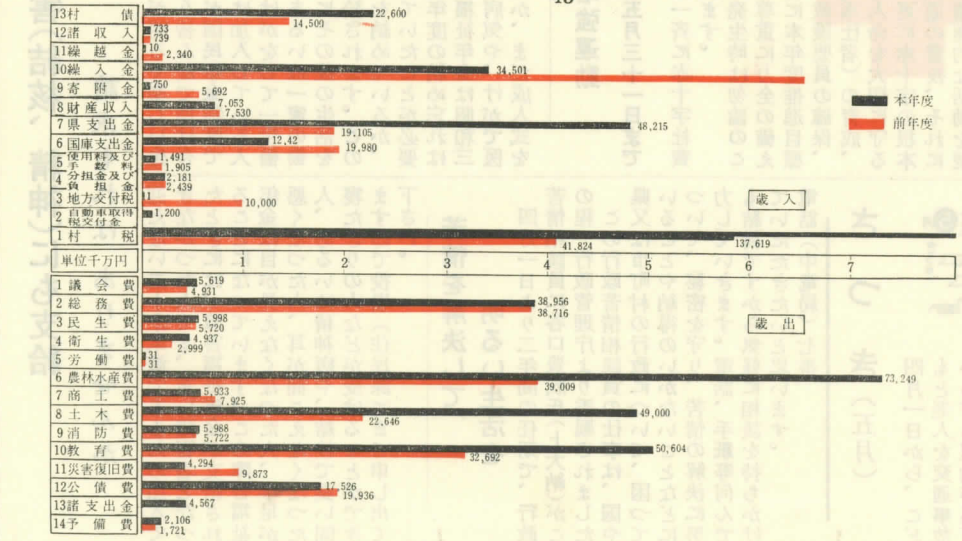
和泉村歳入歳出予算44年度款別比較表

Table comparing budget items for fiscal year 44, categorized by income and expenditure.

Text explaining the budget items, such as land tax, agricultural subsidies, and social welfare costs.

Text discussing the overall financial strategy and the impact of population decline on the budget.

和泉村歳入歳出予算44年度款別比較図



毎月 第三日曜日は「家庭の日」

役場の窓口

交通事故被害者

生活つなぎ資金貸付制度

最近の自動車交通のめざましい発生に伴ない、交通事故は各地で激増し、ついに昨年は史上最高の犠牲者を出していた。

このたび県において、これら犠牲者の救済を図る目的で本年四月一日より自賠法等の保険金の支払いが遅れ、生活が困窮している被害者およびその家族に対し、当座の生活を安定させるため、予算の範囲内で生計維持または治療に必要な資金を貸し付け、被害者等の自立の助長促進を図ることを目的とする(交通事故被害者生活つなぎ資金貸付)制度が出来ました。

◆貸付けの対象◆

- 一、県内に住所を有すること。
- 二、自損行為により当該交通事故を起したものでないこと。

朝日保育所が誕生

工場誘致による労働力の需要に因ずるため、二―三才児を対象として幼児の保護者の婦人層から強い要望もあつて、四月十五日から朝日中学校の寄宿舎の二室を利用し、季節保育所として保母に中山幸子さんを迎え、看板も新たに朝日保育所として誕生した。



◆ 広報は、家族みんなで 読みましよう

- 三、一家の生計をささえ、生活が困窮していること認められること。
- 四、当該交通事故にかかると自動車損害賠償保障法に基づき保険金等を受領していないこと。
- 五、加害者等から当該交通事故にかかると損害賠償金の支払いを受けていないこと。
- 六、貸付金の償還が確実であると認められること。

◆貸付限度額◆

- 一、貸付限度額一世帯当り一〇万円

村内各団体の新しい事業計画

新年度を迎え、三月三十日の農協を始め、婦人会、森林組合と総会が相次いで開催された。

本年度事業計画には、村の再建を考慮した建設的な計画がなされており、その主なものは、次のとおりである。農協においては、農業基盤確立のため、農協に注ぎ、その発展を期する。組織活動へ農家組合長、農協婦人部、(生産グループ)並びに外部活動の強化等など、森林組合においては、二年目を迎えた林業構造改善事業を着実に実施し組合員のための森林造成利用事業、素材生産委託販売事業に重点をおき、組合組織の拡大強化と、組合員の森林状態の改善増強に努める。優良造林地、優良おうれん、なめこ、しいたけ栽培者の表彰を実施して積極的奨励に努める。又婦人会では、婦人村内体育大会、宮城清掃奉仕参加、婦人労働力の問題の処置等と泉村の将来に向

- 二、貸付期限は貸付の日から六ヶ月以内。ただし、自動車損害賠償責任保険金等を貸付の日から六ヶ月以内に受領した場合は当該受領の日までとする。

◆貸付利息◆

- 一、貸付金は無利子とする

◆貸付手続◆

- 一、交通事故被害者生活つなぎ資金貸付申請書一通(役場に用紙有)
 - 二、警察署長の発行する交通事故証明書写 一通
 - 三、住民票の抄本または除籍謄本 一通
 - 四、保険請求者の印鑑証明 一通
- 以上で詳細については、役場総務課までお問合せ下さい。

障害福祉年金

内部障害(結核、精神)にも支給

請求もれは ありませんか

すべての人が明るく楽しい生活ができるよう皆さんで助け合おうとするのが国民年金制度です。この年金制度では加入している人が達が老人になつたりけがをして一生働けなくなつたとき、あるいは一家の働き手が死亡したときにその後の生活を守るために年金が支給されます。この場合一定期間保険料を納めているか、保険料の免除を受けていたことが必要とされます。四十三年度の納め忘れはありませんか。障害福祉年金は昭和三十六年四月一日前に病氣や、けがで医師の診察を受けたとか、まだ成人式を

苦情を解決して 明るい生活を

四月一日より二年間の任期で、行政苦情相談員に谷口豊成氏(上大納)がこの行政苦情相談員の仕事は、国や県又は市町村の行政について、困つていることや納得のいかないことなどについて、秘密を守り、苦情の解決に努力していきます。電話、手紙等何んでも結構ですから気軽に相談を持ちかけていただきます。電話(中電局)七番

赤十字社費増強運動

五月一日から五月三十一日まで増強運動が展開されます。赤十字は、災害の発生時は勿論のこと、日ごろより人命尊重に万全の備えをはらつており、特に本年度推進目標は救助資材の整備、救護要員の確保、ボランティア(自主的奉仕者)の育成、血液事業の充実など人命を大切に守る運動を進めており、更に赤十字の根本精神である、博愛人道の普及、それに伴う国際活動にも積極的な活動を続けております。

社会の推移に伴ない赤十字に対する期待は近年益々大きく、これらの運動に一層努力し、各位の御期待に添えるよう推進することになっていきます。赤十字事業は、社費、賛助費を持つて組織しておりますので村民各位の物心両面にわたる御協力をお願いします。尚本村の目標額は九方一千円

さつき(五月)



四月一日から、こどもと老人を交通事故から守る運動が県下全般で実施されています。併し依然として交通ルールが守られていないのでしようか、毎日のように新聞紙上を賑わしています。昭和四十三年中に福井県内の交通事故の実態をみますと、死者一三九名、傷者七〇五七名これを四十二年と比較

国民健康保険条例の一部改正

育児手当金(任意給付)の増額 助産婦の設置

三月の定例村議会において、任意給付である育児手当金の金額が、従来国民健康保険の被保険者が出産した場合その出生児を育てたときは、育児手当金として月百円(六月間)を支給することに規定されているが、四月一日から一千二百円(一月二百円の六月分)

に改正された。

また、妊産婦の健康の保持増進のため、助産婦島田ちとせさんに委嘱して妊産婦の健康指導に当たってもらうことになりましたので、妊産婦の方は、母体出生児の健康上のために、指導を受けられるよう期待しております。

公民館運営審議会

開催される

昭和四十四年度和泉村公民館運営審議会委員兼社会教育委員、及び分館長会議が四月十四日役場において開催された。その主なものとして社会教育では、「わたたくしたち県民の生活指標」を旨とした挨拶の実行、感謝の生活など昭和四十四年度社会教育事業計画がたてられた。

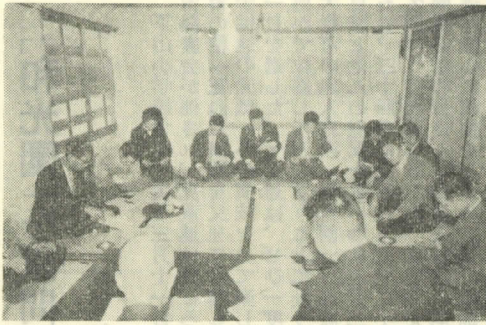


写真...運営審議会の模様

役場の事務分担に異動

四月一日付をもって、役場の一部人事異動があり次のように変わりました。

総務課
主 事 吉岡和男(中龍支所)

建設課
主 任 深谷昌義(産業観光課)

主事補 道岸孝治()
道路手 加藤守彦(新規採用)

中電支所
支所長 末永秀一(社教主事)

教育委員会
社会教育主事 土肥信次(県派遣職)

和泉村小中学校教員異動

管外転出九名 転入九名

朝日小学校
転出 広田 淑枝 勝山市北谷小へ

武田 博美 三国西小へ

酒井 宇子 鯖江河和田小へ

転入 筒井 正則 福井大卒

大納小学校
転出 藤田 隆子 大野市小山中へ

藤田 裕一 志比北小へ

◇とび出すな、車は急に止まらない

和泉村消防団幹部が異動

新団長



前団長



団長、団長と永年責任ある指導者として

大廻 一枝 福井大安寺小へ

竹下 正和 志比北小より

水口 史子 岐阜県神岡町

新木 敏子 大津山中より

下山小学校
転出 田中 信清 丹生郡織田小へ

転入 永宮 紀一 福井大卒

朝日中学校
転入 土肥 信次 勝山中より

大納中学校
転出 宇佐見明久 平泉寺中へ

宇野 慶子 平泉寺中へ

田中 光治 福井大卒

佐々木博子 福井大卒

松村 春美 福井大卒

退職 木下美恵子 退職

て、献身的な熱意と活躍は村民の信頼と感謝の的であった。

後任に辻善久氏が、又副団長に三島健太郎氏が選任された。

両氏とも消防実務に対する経歴も長く業績と手腕は衆知の通りで今後の活躍が期待されている。

新幹部は次のとおりである。

団 長 辻 善 久

副 団 長 三 島 健 太 郎

第一分団長 加 藤 守 彦

第二分団長 桜 川 義 夫

第三分団長 下 東 美 善

第四分団長 山 出 富 藏

第五分団長 山 内 忠 作

退任の辞

不省の身でありながら団長の栄職を汚し、短い年月でしたが幾多の思い出を残し、至らぬながらも大過なく、その任を終えることができましたことは公私に亘る皆様のあたたかい御指導と御協力の賜と心から厚く御礼申し上げます。

新任の挨拶

この度四月四日付を持ちまして和泉消防団長を任せられました。浅学無能な私ですが皆様の御指導、御鞭撻により立派な消防活動を実施し非常時に備える覚悟であります。簡単ですが、誌上をもって御挨拶申し上げます。



しますと、死者二七・五パーセント傷者四二・五パーセントと非常な増加を占めています。今年一月から三月末までに人身事故、物損事故併せて二九・四パーセントと既に昨年同期より多くなっています。このように近年交通事故故による人の被害は大戦争の死傷者にも匹敵するほどになっております。被害者やその遺族としてはもちろん社会全体として考えるとき、この事態をなんとか食い止める事ができないものだろうか。

「交通事故は天災ではありません」したがって交通事故防止はみんな一人一人での努力すれば、なくすことができるのでないでしょうか、それにはまず「運転者のルール、自転車に乗るときは必ず「運転者のルール、道路を歩くときのルール」を各人がそれ、この三つのルールを正しく覚え、そして、これを実行してこそ、はじめて達成できるものでないでしょうか。

毎日児童が交通ルールに従って登下校しているようすがありますが、一旦退校後の遊びはどうでしょうか、一旦退校後、近年放課後の子供の交通事故が大半を占めているようすが、交通事故は運転手ばかりの過失ではありません、歩行者側にも過失があります。

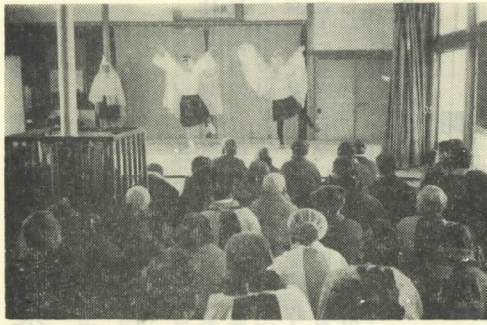
道路で遊んだり、自転車で競走したりしているようすがよくみかけますが、大人たちはどの子も見逃がすことなく充分説得をしてやっています。このように、道路を歩く人は、交通事故を含めた交通の実態をよく知り「他人ごとではなく、明日は我身にふりかかっている」という安全意識を深く心してほしいものです。交通事故を起した運転者は「その一瞬から平和な生活から地獄への悲劇が始まる」「その一瞬から生計の道を断たれる」こととなります。

現在この交通ラッシュを交通暴力、交通戦争、と呼ばれておりますが、一日も早く平和で安全な明るい郷土をつくるよう努力しようではありませんか。

「和光園」を慰問感謝される

下山小学校児童

下山小学校では、去る三月十一日学習発表会が催され、児童達は日ごろ練習の積み重ねた演技を父兄に披露し、子供達の元気一杯の演技を見て楽しい一日を過ごした。父兄達は、ぜひ一度何処かで披露してわと言ふことになり、大野市の老人施設「和光園」へ施設の見学と老人の慰安を思いつき三月二十五日、三十四名の児童と（父兄二十余名同伴）で慰問しました。和光園では園長を始め皆さんが迎えられ、老人達は熱心に演技をみつめ、数々の踊りなどに、おしめない拍手を送り特に、二年生の踊りに目がしらをおさえていた人も見られるなど大変感謝された。又、へき地の小さな学校の子供でも、人の前で発表することが出来るという自信を植えたなど有意義な一日であった。



写真…踊りを披露する児童たち

尚、部落では、区長さんを始め父兄

◇腸チフス、パラチフス、日本脳炎の子防接種は、五月〜六月中

成人病予防には

早期発見・治療が最善

日本人の平均寿命は、戦後昭和二十二年に五十才代になり、以後どんどん延びて昭和四十一年には男六十八才、女七三、六才と欧米の水準と全く肩を並べるようになった。これは戦前に死因の王座にあつた結核や肺炎などの伝染病が、公衆衛生の進展などによつて大幅に減少したためである「人生七十古来稀なり」という古い（ことわざ）を要えなければならぬといくらいで、長生きする人が多くなるに伴つて、高令者に多い病気が増えてきた。

最近八年間の主な死因は、第一位が脳卒中、第二位、肺がん、第三位、心臓病と順位はまったく変つていない。昭和四十一年には、脳卒中中（十七万二千八千人）肺がん（十一万人）心臓病（七万人）の人が死亡しており、この三つの病気だけで、一年間に死亡する人の半数以上を占めている。これらの病気はいずれも四十才ごろから急に多くなるので、まとめて成人病と呼ばれている。四十才代といえは、働きざかり一家の支柱、社会においては中心的な地位を占める年齢層である。これらがあると社会的にも重大な影響を及ぼすことになる。そこで成人病の予防にはどうすればよいか考えてみたい。

伝染病の撲滅には予防対策が大きな効果をもたらしたが、成人病についても予防にまさる治療はないが、まず第一に必要なのは成人病についての正しい知識を身に付けること。第二は、その知識を実際に活用することである。成人病は、衣食住などの日常生活と密接な関係があるので、守るべきことを実際の生活に応用することがこの病気から身を守る道である。

成人病の成り立ちには不明の点が多く、これが絶対という予防法はない。したがつて次の方法として、病気を早期に発見するために、定期的に健康診断をうけること、病気になる場合は正しい手当と、正しい生活をするのが最も重要である。次号は「がん」について、お知らせします。

歌会始のお題

「花」ときまる

一、昭和四十五年歌会始のお題は「花」と定められました。

古来、歌では花といえは桜の花をさしましたが、お題の「花」は、桜に限らず草木の何の花でも題材として結構です。

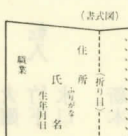
二、詠進歌の詠進要領

① 詠進歌は、一人一首とし、未発表の歌であること。

② 用紙は半紙を用い、毛筆で自書のこと。

③ 書式は半紙を横に二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名（本名ふりがなつき）生年月日及び職業（具体的に詳しく）を書くこと。

④ 詠進の期間は、本年九月一日から十月十一日までとし郵



住所、氏名（本名ふりがなつき）生年月日及び職業（具体的に詳しく）を書くこと。

送の場合は、消印が十月十一日までのものを有効とします。

⑤ 郵便のあて先は「〇〇東京都千代田区千代田一番一号宮内庁」とし封筒に「詠進歌」と書き添えること

⑥ 以上について疑問があれば、直接、宮内庁庶務課あてに住所、氏名を書き、郵便切手をはつた返信封筒を添えて照会するか、県庁又は市町村役場に問い合わせして下さい



写真…「ひめます」の放流

明るく正しい選挙

選挙は政治へ参加の手段

明るく正しい選挙運動は、全国にひろがりつつあり、民間組織としての協議会も各地で結成され、自主的啓発運動が展開されております。

今回から幾度かにわたって、主催者の皆さんと、明るく正しい選挙推進について考えてみたいと思います。

民主政治は主権在民のもと、普通選挙が基本になっていますので、一人一人が主権者であり、有権者は平等に一

人一票の誇りある尊い権利をもつております。つまり、私たちは主権者ですが、主権者としてすべてが直接、政治にたざさわることは出来ず、そのかわりに選挙という手段によつて選挙権を持つている者が議員を議会に送り、間接に政治に参与する形がとられておりこの重要な意義を理解し、一人一票の尊さを自覚しなければなりません。

「ひめます」など放流

網生質を鷺タムに

自然美と言うものは山があつたり、その山が目射るような緑になつたり燃えるような紅葉になつたり、又そのどこかには、必らず澄みきつたしかも底知れない淵がありそうかと思えば岩をかむような激流があり、そして「やまめ」や「あゆ」を求めて天狗連が釣糸をたれている姿を思い出すのである。今、和泉村は手近にあつた自然美の最大条件を失つた。何やら心にうつろなものを感ぜずにはいられない。それでもこの大地をあきらめず村民自らの手で必らずこれに変わるものを求めて大自然のもつ大抱擁力に更に人工を加えてよりよき郷土を作り上げたいものである。それ等の手段や方法として和泉村は奥越漁業組合に委託して「ひめます」「五〇万尾」「こい」「ふな」「各一〇万尾を放流してダムを観光資源として開発するのみならず村民の憩の場にするべく計画し既に「ふな」の一部と「ひめます」一〇万尾を放流し傍ら養魚の方法として網生質を用いて現在鷺タムにおいて桜川局長等が中心となり試験養魚が行なわれている。